



子どもやお年寄りを

見守る目を増やす！

五日市観音学区は、学区内すべての組織・団体で、「五日市観音ネットワーク」を設立し、力を合わせて街ぐらみで安全で安心な街にしようという取り組みをしています。散歩や買い物、ウォーキングのコース

人と人との絆を強めて 地域の安全性を高める

を、保育園や学校、公園など子どもたちのいる場所にして、日ごろから見守っています。学区防犯連合会は、定期的に青色回転灯装備車6台で巡回パトロールを実施し、人目の少ない場所などでも犯罪の発生を未然に防ぐ活動を続けています。

あいさつを交わし、

人の絆を強める！

あいさつ運動や交通安全運動、地域行事を通して顔見知りになり、人間関係を広げたり深めたりして、人と人とのつながりを大切にしています。子どもたちからは笑顔で「おはようございます」と元気な声が響いています。

地域の大人たちを信頼する気持ち、地域の大人たちを誇りに思う気持ちで育っています。

地域を教材にして学ぶ

観音の子どもたち！

観音地域には自然が残っています。文化や

伝統も脈々と継承されています。それらを学校の学習の教材（教科書）にして、地域の人も教育活動に参画して

地域ぐるみで学校の教育活動を支えています。その一つが「岡の下川シジミプロジェクト」。

学区防犯連合会は、子どもたちの安全確保を図りながら、シジミの稚貝植え付けと観察学習を支援しています。

「岡の下川のシジミ再生」…地域ぐるみで環境づくり…

「岡の下川保全協会」（森本得夫会長）の協力を得て、毎年、水質浄化能力の高いヤマト



シジミの稚貝を岡の下川に植え付けています。また、昔の河川をよみがえらそうと清掃活動をしています。子どもは「飲めるくらいに美しい川にしたい」と熱心に取り組んでいます。この学習には、地域の大人が先生役で参画しています。いろんなことを教えてくれる大人の存在を、子どもたちは体感し誇りに感じているようです。（町田忠義）



青色回転灯車が巡回する

